

笑顔あふれるまち 飯南町

IINAN

い-なん

2023

5

No.221



YOHAKU ARIMASU
IINANCHO

あ-り-ま-す 飯南町

特集 きっかけは自由～狩猟への思い～



きっかけは自由く狩猟への想い

「狩猟」。皆さんはどのようなイメージをお持ちでしょうか。「危険が伴う」「難しそう」などのイメージを持つ人もいるかもしれませんが、そんなイメージにとらわれず、狩猟をする一人の若者。今月は、狩猟への想いを持った若者を取り上げます。



有害鳥獣被害や狩猟登録者数の現状

本町における令和4年度のイノシシの捕獲頭数は、平成25年の約3倍となる658頭(下グラフ①)。捕獲頭数は増えているものの、被害がなくなることはありません。イノシシなどの有害鳥獣による被害を抑えるため、担い手となる狩猟登録者は、なくてはならない存在ですが、全国的には担い手不足が課題となっていると言われています。

しかし、島根県においては令和4年度末の狩猟登録者数は延べ2,963人(1人で複数の免許を登録されている場合も含む)で、平成25年度末と比較して、約300人増加しています。

本町でも、令和4年度末時点での狩猟登録者は74人で、平成25年から約1.5倍と増加しています(下グラフ②)。

ここ数年では、20〜30代で狩猟登録をする人も、若者が狩猟を始めるきっかけは何なのでしょう。

獲るだけでは終わらない

狩猟免許取得後、初めての猟でイノシシを捕獲し、充実感を覚えた渡邊さんを、3つの問題が待ち構えています。

最初に捕獲後の処理です。運び方、さばく場所、廃棄場所。「免許取得前の事前講習会で聞いたつもりでしたが、捕獲後の処理の大変さを甘くみていたかもしれませぬ」と渡邊さん。現在は、先輩の猟友会員からさばく場所や処理方法を聞き、対応できるように。「獲ったイノシシを乗用車で運んだこともあります。すごい臭いだったので、今は軽トラックも持っています」と振り返ります。

次に経費や備品の問題です。わなや銃の取得費用、軽トラや肉の保管用の冷凍庫など、獲るためだけに多く獲った後に必要な物も多くあります。

そして最後に、経験を積む場の確保です。「猟友会の先輩方と猟に行ける機会があればと思うのですが、仕事があるので、時間が合わないことも多く」と渡邊さん。これらのハードルから、獲るだけが狩猟ではないことを実感すると言います。

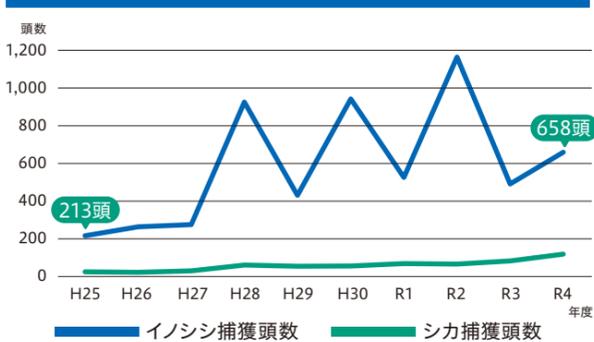
「面白そう」がきっかけ

家族がいて会社員でもある若者にとって、狩猟を始めるのはハードルが高いと感じるかもしれません。渡邊さんはこれらの問題を抱える中で、無理をしないことが大切と考え、子どもとの時間や仕事を優先しているそう。

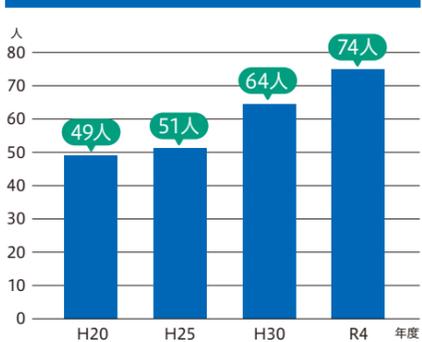
また、現在の狩猟には、有害鳥獣から地域の農業を守る社会貢献としての実態があり、その役割を求められています。「それを理解しつつ、有害鳥獣駆除で感謝されることもあり嬉しいですし、地域へ貢献したい想いもあります。が続ける上で、大切なのは個人としてのモチベーション」と話す渡邊さん。「始めたきっかけが自分のためだったので、モチベーションを保てている」と続けます。獲ったイノシシを料理にして、子どもと食べることも続けられる理由です。

「地域貢献への想いで始めてもいいと思いますし、狩猟に対して先入観なしで『面白そう』をきっかけに、始める人が増えてもいいのかな」と渡邊さん。地域貢献のために始めても、自分のために始めてもいい。きっかけは人それぞれ。

飯南町の有害鳥獣捕獲頭数実績 グラフ①

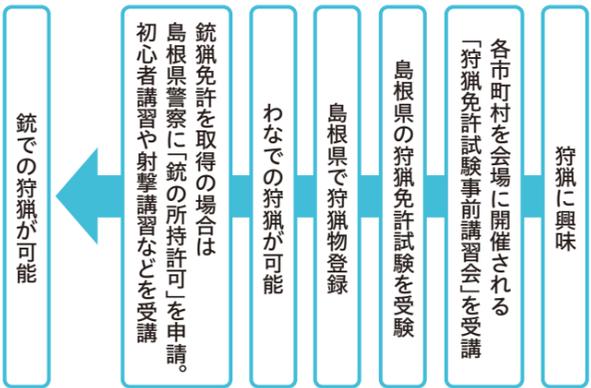


飯南町狩猟登録者数 グラフ②



狩猟を始めるためのロードマップ

狩猟を行うには、住所地の都道府県知事が実施する「狩猟免許試験」に合格し、「狩猟免許」を取得することが必要です。



講習会(5月下旬〜7月下旬) 試験(6月中旬〜8月上旬)の開催日程と会場



講習会・試験日程と会場 (島根県鳥獣対策室HP)

食材として獲りたい

町内の山林の獣道。有害鳥獣駆除のため「くくりわな」と呼ばれるわなを仕掛ける渡邊さん(町区・33歳)。2児の父であり、普段は町内の事業所に調理師として働いています。

渡邊さんが狩猟免許を取得し、狩猟登録をしたのは20代半ば。「食材となるイノシシを自ら捕獲して料理を作りたい」と考えたことが、狩猟に興味を持つたきっかけなのだそう。「猟をしてみたいというわけではなく、食材が欲しかったんです」と話します。

個人で試験対策を進め、試験に合格。最初に取得したのは「わな猟」の免許。実績を積んで数年後には「第1種銃猟免許」も取得。有害鳥獣駆除も行いながら、毎年11月15日から2月末の約4カ月間、狩猟を行っています。

免許の種類

網猟免許	網(むそう網、はり網、つき網、なげ網等)
わな猟免許	わな(くくりわな、はこわな、はこおとし、囲いわな等)
第1種銃猟免許	銃器(装薬銃、空気銃)
第2種銃猟免許	空気銃

狩猟免許の有効期間は3年間。3年に1回、講習と適正検査を受け、更新手続きが必要です。 ■問合せ 島根県猟友会 ☎0852-22-4129

はじめの一步を応援

飯南町有害鳥獣対策後継者確保対策補助金

【対象者】

町内に住所を有し、新たに狩猟免許を取得した(する)人

【補助額】

①第一種銃猟免許の取得

上限13万円

②散弾銃又はライフルの購入

上限10万円

【問合せ】

産業振興課 ☎76・2214



来島公民館と来島ビジョン推進会議の共催で、みんなの広場来島交流センターを会場に音楽会が開催されました。

当日は、大正時代に作られたベビー・オルガンやヴァイオリンで「きらきら星」など、子どもたちも聞いたことのある曲を中心に演奏されました。

会場には子どもたちを含め約30人が訪れ、ソプラノ歌手の歌声に合わせて親子で身体を動かしたり、手遊びをしたりするなど盛り上がりしました。



オルガンdeリラックス みんなの広場子ども音楽会

5.7
日



普段聞くことない音色に子どもたちも聞き入りました

今年で4回目となる来島公民館主催の「春の来島de味覚満喫タケノコ掘り」が開催されました。

飯南高校生や地域住民など9人の参加者は、掘り方を教わった後、来島交流センター近くの竹藪で、1時間かけてタケノコを掘り起こしました。例年に比べてタケノコが多く、土のう袋いっぱいには収穫できました。

収穫後は、山菜の天ぷらとタケノコご飯を試食し、春を満喫する一日になりました。



春の味覚を満喫 タケノコ掘り

4.23
日



全身を使って、力を込めて掘り起こしました



島根県スポーツ少年団登録指導者表彰 日野和美さんが受賞

琴引剣道スポーツ少年団の監督を務める日野さん(町区)が(公財)島根県スポーツ協会から表彰されました。

日野さんは、監督として10年間に渡り子どもたちを指導、剣道をおして子どもたちの育成や指導に尽力し、スポーツの振興に貢献したことが評価されました。

日野さんは「子どもたち一人一人に合わせた指導や練習方法を考えてきた。今後も剣道の振興と子どもたちの成長に貢献したい」と話していました。



4月12日(水)に町教育委員会で表彰状を授与



野菜作りの基本を学ぶ 志々ふるさと講座

志々公民館が開催する「ふるさと講座」の第一弾として「野菜作り講座」が開催されました。

講師にJ-A営農指導課の高橋英次さんを迎え、栽培の基本や肥料・農薬の使い方を学びました。

高橋さんは「美味しい野菜作りから収入に繋がったり、自分を認めてもらえたりと、自己肯定感も得られる。野菜作りが生き甲斐につながれば」と話されました。

ふるさと講座は今後、鳥獣対策講座、天体観望会、防災学習の開催を予定しています。



多くの参加者が「教わったポイントをしっかりと野菜作りに活かしたい」と話していました

4.13
木



恐竜の着ぐるみを着て走る回る子どもを写真撮影

交流センターとんぼら前の頓原交流広場で、イベント「わくわくゴールデンフエフ」が開催されました。

この企画は、若者を中心に「頓原地域を元気に」を目的に活動する「とんぼら探険隊ふえふ実行委員会」と頓原公民館が共催。

会場には、丸太切りや薪割りを体験できるブースが出展。その他にも着ぐるみの試着・撮影コーナーやお菓子釣り、竹とんぼづくりなどのブースが出展されました。コンサートや飲食ブースもあり、町内外から訪れた約200



とんぼらを盛り上げよう とんぼら探険隊ふえふイベント

5.4
木祝



初めての丸太切り。何秒で切れるかを競い合いました

人の親子連れの皆さんは、盛りだくさんの企画を楽しみました。

実行委員会の藤原誠太さん(町区)は「多くの人が訪れてくれてよかった。コロナウイルス感染症が収束に向かう中で、町民の皆さんが集えるようなイベントを開催したかった。今回のイベントが、これから再開する飯南町のイベントが盛り上がるきっかけになればと思います」と話していました。



地域の未来を考える 住教育セミナー

「住む」ことを学び、考えることを通して、飯南町の未来を考える「住教育セミナー」が道の駅頓原で開催されました。

(一社)全国古民家再生協会島根第一支部の金築支部長が「空き家の活用方法」や「家の相続」などを講演。参加者は耳を傾けました。

セミナーは同支部と飯南町国道54号活性化アクションプラン推進協議会が共催。今後5月21日(日)、7月23日(日)にも開催予定です。申込や詳細は「いいなんナビホームページ」をご覧ください。



参加者同士で家の悩みや困りごとを話し合いました

4.15
土



ゆつくり散策、じつくり観察 自然と遊ぼう!春の植物観察+α

谷笑楽校周辺で「自然と遊ぼう!植物観察+α」が開催されました。

約40人の参加者は、ガイドの荻野英明さんの話を聞きながら植物を観察。約2キロのコースをゆつくり散策しました。

散策後、竹にパン生地を巻き付けて炭火で焼き上げる「まきまきパン」や「山菜天ぷら」を食べてにぎわいました。

参加者からは「身近なところに毒がある植物があつて驚いた。まきまきパンでお腹いっぱいです」などの声が聞かれました。



山野草の名前やその由来などの説明を聞く参加者

4.23
日



西室常務理事(右)と塚原町長
同法人との協定締結は本町が県内で9件目

災害時の物資供給に関する協定を締結

4月21日(金)

本町とNPO法人コメリ災害対策センターの間で、「災害時における物資供給に関する協定」を締結しました。

この協定により、地震や風水害などの災害発生時や災害発生の際がある場合に、ブルーシートや飲料水などの物資を迅速かつ円滑に被災地に供給することが可能になります。

今後は同法人と連携し、災害時だけでなく平常時の防災訓練など、町民の皆さんの防災意識の啓発にも取り組んでいきます。



藤原専務(右)と塚原町長
今年度も取組を推進していきます

(株)藤原建設にJ-クレジット販売の証明書を交付

4月14日(金)

二酸化炭素排出量の削減に取り組む(株)藤原建設と2月にJ-クレジットの売買契約を締結。証明書を交付しました。

本町は町有林の整備を進める中で、間伐により整備された二酸化炭素の吸収量をクレジットで数値化して売買取引可能な形にする取組を令和2年度から実施しています。

今回の(株)藤原建設との取引により、本町が令和4年度に保有していたJ-クレジットは完売となりました。



会社ホームページ

企業版ふるさと納税 企業紹介

(株)エイエム建設コンサルタント
代表取締役 安達和久様
寄附額100万円

同社は、平成21年に創業。受託環境の整備と、信頼される技術の提供を第一義に経営されています。

「島根の豊かで美しい自然と融合した、未来志向の公共インフラ創造企業」を合言葉に島根から全国へ事業展開を目指し、測量・設計のICT化による生産性向上、最新3D設計による共感される成果の提供など、技術力の向上と充実を図られています。

魅力ある職場で女性の皆さんにも進んで参加いただける会社を目指しており、令和3年1月には飯南事務所を開設し、地域に密着した業務に取り組まれています。

着任した教職員向けの研修を開催

4月14日(金)



管理職から新規採用職員まで多くの教職員が受講

今年度、町内小中学校と飯南高校に着任した教職員を対象に、新任教職員研修を開催しました。

本町では「ふるさと飯南町を誇りに思い、社会で役立つ学力を身につけ、前に一歩踏み出す力、協働する力を育成すること」を目標に保小中高一貫教育を実施。重点的に取り組むキャリアパスポートの活用やICT教育の実践例、まちの観光資源や文化などを説明しました。

今後は、教職員の一人一人が目標の達成を意識し、授業などに取り組みます。

まちの魅力伝える書籍「余白の中で」完成披露

4月16日(日) 21日(金)

4月16日(日)、書籍「余白の中で」の完成を記念してトークイベントを開催しました。

記事を執筆した町民ライター古賀崇真さん(志津見)や、プロのライターなど書籍制作に携わった3人が、それぞれの立場で町の魅力を紹介。

古賀さんは「自分の文章が本になるのは初めて。私の住んでいるのは素敵なまちだよと紹介したい」と話しました。

4月21日(金)には、塚原町長と記事を執筆した町民ライターを代表し、大上祥子さん(角井)、古賀崇真さんが丸山知事を訪問。書籍の完成を報告し、どんな人に読んでもらいたいかなど本に込めた想いを知事に伝えました。

書籍を受け取った丸山知事から「きれいな風景がたくさん掲載されていますね。行ったことのないところもあるので、訪れてみたいです」と感想をいただきました。

書籍「余白の中で」は町内2カ所の道の駅、全国の書店、Amazonなどのオンラインショップで販売。



執筆した文章に込めた想いを丸山知事に伝える大上さん(写真左)



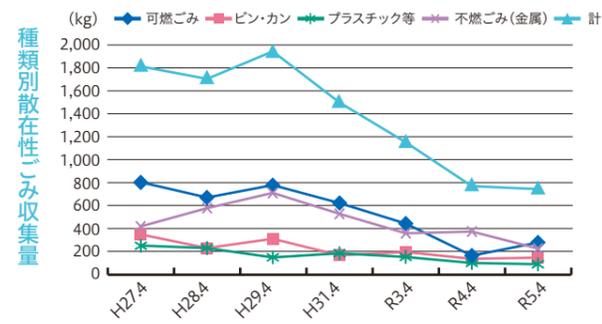
トークイベントでまちの魅力を文章で伝える楽しさ、難しさについて語る登壇者

ごみの出し方のお願い

- いつも大変な分別に、ご協力ありがとうございます。
- ①資源ごみになる「食べ物・飲み物が入っていたビン・カン」はきれいに洗って、フタを外して出しましょう。
 - ②飲み物の入っていたカンは、なるべく資源ごみとして出しましょう。
 - ③指定袋には必ず名前を書きましょう。
- 詳しいごみの出し方については、「ごみ分別冊子」をご確認ください。(いいしクリーンセンターHPにもあります)

問合せ いいしクリーンセンター ☎72-9217
住民課 ☎76-2213

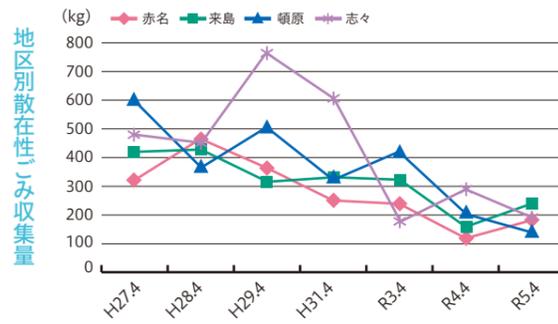
令和5年度散在性ごみ収集活動集計表



令和5年度の特徴 今年から種別を変更しています。ビン・カンを一括して集計し、不燃ごみ(主に金属類)、新たに「プラスチック等」を単独で集計しています。今後も自治会において、美しい町づくりへのご理解、ご協力をお願いします。

ごみ収集不可理由集計表

収集できない理由	件数
氏名の記載なし	65
直接持ち込みが必要	18
袋の間違い	19
ごみの出し方の間違い	798
ごみ袋を2重にしている	4
容量を超えている	51
生ごみの水切不十分	5
その他	54
合計	1,014



教育環境基本方針検討委員会経過報告

昨年度、本町の今後の教育や学校のあり方などを検討し、本町にふさわしい教育環境の基本方針を策定するために設置した「教育環境基本方針検討委員会」。昨年度中に4回の検討委員会と1回のシンポジウム、町内小中学校の現場視察を行いました。

これまでの経過、答申案、今後のスケジュールを報告します。

実施内容と経過報告

第1回検討委員会

令和4年6月27日

委員の皆さんに委嘱状交付後、島根大学作野広和教授を委員長に、信藤一郎氏を副委員長に任命。総合振興計画、教育行政方針に基づき、まちづくりや教育の方向性について委員に説明。

地域と学校の未来シンポジウム

令和4年6月27日

作野委員長が「みんなでつくる地域と学校」をテーマに、近年の教育環境の変化、学校を取り巻く社会情

勢の変化などを講演。講演後、参加者全員で意見交換を実施。



シンポジウムには約50人が参加。それぞれの立場で教育を考えていきます

第2回検討委員会

令和4年8月30日

保小中高一貫教育について、キャリアパスポートの活用を中心に、学校現場の現状と課題を説明。今後の教育の方向性について協議。

第3回検討委員会

令和4年11月16日

学校評価に基づき、学校の現状、部活動の地域移行、コミュニティスクールなど教育を取り巻く社会情勢の変化を説明。児童数の減少と複式学級のメリット、デメリットなどを協議。

町内小中学校の視察

令和5年2月10日

委員の皆さんで、町内小中学校を視察。学校の運営方針や複式教育の現場視察、学校施設の状況などを確認。

第4回検討委員会

令和5年2月16日

方針の全体構成(案)を示し、令和5年度の方針作成に向けた方向性やスケジュールを確認。



各回で活発な意見交換が行われています

答申の全体構成(案)

- (1) 町のまちづくりと教育方針
- (2) 町の学校と地域における現状と課題
- (3) 町ならではの魅力ある教育
- (4) これからの町にふさわしい教育環境
- (5) 町教育の課題と今後の計画

今後のスケジュール・進め方

今後の全体計画とスケジュールは、次の3段階です。本町にふさわしい教育環境づくりを進めます。

①教育環境基本方針の策定 (令和5年度)

今後の少子化や人口減少に対応できる教育環境の理念を示す。

今後の小中学校の配置や規模を示す。答申を受け「基本計画」を策定するにあたり、配慮すべき事項を示す。

②教育環境基本計画の策定 (令和6年度)

基本方針を踏まえて基本計画を策定。

具体的な学校の配置や規模について方向性を示す。

③教育環境実施計画の策定 (令和7年度以降)

問合せ 教育委員会
76・3944



「教育環境基本方針検討委員会」経過報告 (町ホームページ)

各回での委員の皆さんからいただいた意見などの詳細はホームページをご覧ください。

手当額の改定 児童扶養手当・特別障害者手当・障害児福祉手当・特別児童扶養手当

令和5年4月～

児童扶養手当

受給資格

父母の離婚などにより父(母)と生計をともにしていない児童(18歳未満)の母(父)、または父(母)が身体などに重度の障がいがある児童の母(父)あるいは父母にかわってその児童を養育している方に対し、児童の健やかな成長を願って支給される手当です。

※平成26年12月1日より公的年金を受給している父母または養育者も児童扶養手当の対象となりました。
※父(母)または養育者が日本国内に住所を有しない場合は、手当は支給されません。

特別障害者手当

受給資格

身体または精神に著しく重度の障がいがあるため、日常生活で常時特別な介護を必要とする20歳以上の

人。
※対象者が次の事項に該当する場合は、手当は支給されません。

- ・社会福祉施設等に入所している人
- ・病院に継続して3カ月を超えて入院している人
- ※原爆介護手当を受給している人には、特別障害者手当を調整して支給します。

障害児福祉手当

受給資格

身体または精神に著しく重度の障がいがあるため、日常生活で常時特別な介護を必要とする20歳未満の児童。

※対象児童が次の事項に該当する場合は、手当は支給されません。
・障がいを事由とする公的年金を受給することができる場合
・児童福祉施設等に入所している場合

特別児童扶養手当

受給資格

身体・知的・精神に一定の障がいがある20歳未満の児童を養育している父母または養育者。
※対象児童が次の事項に該当する



場合は、手当は支給されません。

障がいを事由とする公的年金を受給することができる場合
・児童福祉施設等に入所している場合

今回紹介した手当制度の受給資格には、該当する障がいの程度に基準があり、所得制限等が定められて

手当の額 (月額)		
児童扶養手当	全部支給	44,140円
	一部支給	44,130円～10,410円
	児童2人以上の加算額	5,210円～10,410円
	児童3人目からの加算額	3,130円～6,240円
特別障害者手当		27,980円
障害児福祉手当		15,220円
特別児童扶養手当	1級	53,700円
	2級	35,760円

います。

受給資格に該当すると思われる場合は、申請される前に一度ご相談ください。

問合せ 福祉事務所
72・1773

healthycolumn
健康コラム

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 ☎72-0221 ●来島診療所 ☎76-2309 ●保健福祉センター ☎72-1770

飯南病院 便り 4月から勤務している職員を紹介します



医長 文田昌平

昨年度は、島根県立中央病院で再度研修していましたが、4月からまた飯南病院で勤務させていただくことになりました。飯南町で働けることをうれしく思っています。
地域の健康を守るように頑張ります。よろしくお願いいたします。



医長 原田愛子

飯南病院での勤務は初めてになります。
出身は江津市です。3月までは福岡県の病院で勤務していました。
地域の皆さんの健康を守るように、日々精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



看護師 奥野佳穂

飯南高校卒業後、出雲市にある島根県立大学へ通っていました。今までお世話になった飯南町へ恩返しをしたいと思い、地元へ戻ってきました。
患者さんやそのご家族の声に耳を傾け、寄り添った看護を提供できるように精進していきたいです。よろしくお願いいたします。



看護師 吉中 卓

飯南高校卒業後、益田市看護学校へ進学しました。地元である飯南町で3年ぶりの生活となり飯南町の居心地の良さを強く感じています。
私の大好きな地元である飯南町で生活しておられる皆さんの健康のサポートができるよう努めて参ります。よろしくお願いいたします。

保健福祉センター 便り メンタルの乱れに注意しましょう

4月から新生活が始まり約2カ月。新しい職場や学校、人間関係、気候など「変化」に疲れが出ていませんか。
「気持ちが張り詰めている」「不安や心配が頭から離れない」「すぐ疲れる」「寝つきが悪い」などが続いているときは、少し立ち止まって次のことを意識してみてください。



① 「変化」を作らない

●新たな日常活動やルールを増やさないようにしましょう。

③ 生活リズムを整える

- 朝ごはんをしっかり食べましょう。
- 朝起きたら太陽の光を浴びましょう。
- 夜に連続して6時間は眠るように心がけ、緊張が激しかったり、体が疲れていたりする日はプラス1~2時間は眠るようにしましょう。

② 時間の使い方

- 休日は予定を入れず、ころのおもむくままにゆったりと過ごしましょう
- 食事時間を普段より長めにとりましょう。

この3つを意識して、体だけでなく、こころの健康にも気をつけて毎日を過ごしましょう。

■問合せ 保健福祉課 ☎72-1770



農林大学校林業科に、新入生22人が入学しました

●中山間地域研究センター ☎76-2025
<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



島根県立農林大学校は、次代の島根県の農林業をリードする農業者と林業技術者の養成を教育目的としており、林業科では実習重視のカリキュラムにより、林業事業体の即戦力となる人材を養成しています。

農林大学校林業科(飯南校)は上来島にある中山間地域研究センター内に併設されており、この3月には16人の学生が卒業し、県内外の林業事業体へ就職しました。

また、4月11日(火)には、大田市にある農林大学校本校で入学式が行われ、林業科は過去最多22人の新入生を迎え入れました。

林業科2年生11人、早期養成コース(1年課程)1人の総勢34人の学生が、この飯南町で林業に関する知識と技術の習得に励んでいます。



入学式全体写真(林業科・農業科)

地域行事への参加などを通して、地域の皆さんと接する機会もあろうかと思えます。その際は声をおかけください。よろしくお願いいたします。

■問合せ先 島根県立農林大学校 林業科 ☎76-2100

住みよいまちへ
集落支援員

谷地区
集落支援員の
澤田です。

町内5地区で活動する「集落支援員」の活動や地域の取組、地域自慢を紹介します。

谷自治振興会 組織再編後の活動

谷地区では令和2年度に地域計画「谷未来ビジョン」を策定し、令和3年度にはビジョンに沿って組織の再編が図られ、3部会を中心に活動が進めています。

くらし安心部

- 【つどいの場づくり】笑楽校での〇〇カフェ 各集落でのサロン開設
- 【健康づくり】ヨガ教室の開催
- 【防災活動】自主防災組織の設立準備
- 【新除雪組織】スノーレンジャー谷の立上げ

なりわい創生部

- 【美しい農村環境】花桃の里づくり 農村公園の管理 校庭の芝張り
- 【農業交流体験】サツマイモ作り体験 野菜栽培勉強会



道路沿いなどに花桃を植え、美しい地域づくりに取り組んでいます

魅力創造部

- 【定住促進】UIターン歓迎交流会の開催
- 【交流情報発信】優便ポストの講演会 他出者への情報発信 因島との交流
- 【伝統文化】神楽共演大会の開催



谷地区に移住された方を囲み、交流会を実施しました

事務局

- 【輸送活動運営会議】せせらぎ号の運行
- 【谷笑楽校運営】交流拠点づくり
- 【除雪活動連絡会議】きめ細やかな除雪
- 【視察団体やホストファミリー受入】



求人情報

直近1カ月に受け付けた求人をご紹介します。詳しい内容を知りたい方、このほかの求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。
飯南町無料職業紹介所 ☎76-2864
 (役場まちづくり推進課内) ※表示のない市外局番は「0854」です

社会福祉法人 友愛会 72-0214	
管理栄養士、栄養士 59歳以下、管理栄養士、栄養士、普通自動車運転免許(あれば尚可)	フル 2人
調理職員【愛寿園】【琴引の里】 59歳以下、調理師(あれば尚可)、普通自動車運転免許(あれば尚可)	フル 4人
介護支援専門員【愛寿園】【琴引の里】 59歳以下、介護支援専門員、普通自動車運転免許	フル 1人
介護職員(臨時職員) 18歳以上、介護福祉士(あれば尚可)、普通自動車運転免許	フル 5人
介護職員 介護福祉士(あれば尚可)、普通自動車運転免許	パート 5人

オージェイケイ(株)島根工場 76-3711	
生産・工程管理事務員 38歳以下	フル 1人
プラスチックシート製造オペレーター 59歳以下	フル 2人

島根県農業協同組合 雲南地区本部 42-9000	
農業機械の修理・販売 普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 2人
肥育牛・繁殖牛の飼養管理	フル 1人

(株)藤原建設 72-0154	
土木施工管理者 69歳以下、普通自動車運転免許	フル 1人
土木作業員・重機オペレーター 45歳以下、普通自動車運転免許	フル 1人

島根県農業協同組合 雲南地区本部 飯南営農経済センター 76-2967	
トマト・パプリカ・メロンの選別・箱詰め作業	パート 2~4人

(株)後藤建設 72-0103	
土木施工管理技術者 1級または、2級土木施工管理技士、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人
建築施工管理技術者 1級または、2級建築施工管理技士、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人
現場技術員(未経験者歓迎) 普通自動車免許(AT可、入社後MT取得可)	フル 1人

松田建設(株) 76-2361	
土木技術職員 64歳以下、2級土木施工管理技士、1級土木施工管理技士、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人

(株)カゲヤマ産業 76-3245	
土木作業・重機オペレーター 65歳以下、車両系建設機械運転技能者、2級土木施工管理技士、大型自動車免許(3つともあれば尚可)、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人

田村工業(有) 76-3511	
土木作業員及び重機オペレーター 64歳以下、車両系建設機械(基礎工用)運転技能者、車両系建設機械(解体用)、2級土木施工管理技士、(3つともあれば尚可)、普通自動車運転免許	フル 2人

(有)渡辺建設 76-2374	
重機オペレーター 64歳以下、車両系建設機械(基礎工用)運転技能者(あれば尚可)、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人

島根県立飯南高等学校 76-2333	
寄宿舎舎監 18歳以上	パート 1人

営農と暮らしに役立つ 農業専門紙 「全国農業新聞」

●毎週金曜日発行
●購読料 月700円(税・送料込)
●問合せ 農業委員会 ☎76・2214



労働相談会

「パワハラ」「突然の解雇」「勤務態度に問題のある社員に困っている」など、職場での困りごとを専門家に相談してみませんか。
 相談員は弁護士、労働組合役員、会社経営者などが務め、秘密は厳守します。
 ※労働者、事業主どちらの相談も受け付けます。
 ●日時 6月25日(日)10時~15時
 ●会場 ビッグハート出雲(出雲市駅南町1丁目5)
 ●申込 6月20日(火)までに、電話かしまね電子申請サービスで
 ●費用 無料
 ●問合せ 島根県労働委員会 ☎0852・225450

福祉職場相談会

飯南町・雲南市・奥出雲町の事業所が、働き方や募集中の求人を説明します。
 福祉人材センターが福祉の仕事に関する相談や職場見学の調整など、相談から就職までサポートします。福祉の仕事に関する人、福祉職場への就職を希望する人はお気軽にお越しください。
 事前の申込が必要です。申込フォームか電話で申し込みください。
 ●日時 6月20日(火)13時30分~15時30分(受付13時~)
 ●場所 雲南広域連合3階大会議室
 ●問合せ 島根県社会福祉協議会 島根県福祉人材センター ☎0855・325975



相談会申込フォーム

くにびき学園公開講座

島根県社会福祉協議会では、地域課題に対する県民の関心や意識醸成を図るとともに、くにびき学園の学びを広く県民に知ってもらう目的として、公開講座を実施します。
 くにびき学園の講義として開催しますが、卒業生・修了生のほか、県民の皆さんどなたでも受講できます。
 飯南町は赤名農村環境改善センターなど、県内17会場でオンライン併用で開催しますので、ぜひご参加ください。6月6日(火)までに事前の申込が必要です。お問合せください。
 ●日時 6月16日(金)10時15分~12時
 ●場所 赤名農村環境改善センターなど
 ●問合せ 赤名公民館 ☎76・3100



公開講座お知らせのホームページ

難病相談支援センターに相談を

難病を抱え、生活や就労に困りの人はご相談ください。
 ●問合せ しまね難病相談支援センター ☎0853・248510

相談名	主な相談内容	日時	開催場所
難病一般相談	難病、治療、生活などに関する相談	月~金曜日 8:30~16:30	しまね難病 相談支援センター (出雲市塩冶町 223-7)
		毎月第1土曜日 9:00~11:30 (電話のみ)	
就労相談	難病患者の就労に関する相談(ハローワークの就労サポーター対応) 前日までに予約が必要です。	毎月第2水曜日 13:30~15:30	

行政相談員に相談を

総務大臣が委嘱した民間有識者が行政相談委員として、毎月1回行政相談所を開設しています。
 住民の皆さまの身近な相談相手として、行政の仕事に関する苦情、意見、要望、問い合わせなどの相談を受け付け、関係行政機関に対し改善の申入れを行うなどして、その解決の促進を図っています。
 ●相談員 藤原 薫さん(町区) 朽木博文さん(谷)
 ●開設日時・場所 左の表(原則9時~12時)
 ※変更になる場合がありますので、文字放送をご確認ください。
 ●問合せ 頓原基幹支所 ☎72・0311

月日	曜日	開設場所
6月9日	金	役場本庁舎
7月10日	月	保健福祉センター
8月10日	木	来島交流センター
9月8日	金	さつき会館
10月10日	火	役場本庁舎
11月10日	金	保健福祉センター
12月8日	金	来島交流センター
1月10日	水	さつき会館
2月9日	金	役場本庁舎
3月8日	金	保健福祉センター

森林セラピー通信
森のたより
(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

春の安全祈願祭&
飯南町森林セラピーガイドの会
【総会】

4月15日(土)に、飯南町ふるさとの森の安全祈願祭を行いました。あいにくの雨模様となり屋内での開催でしたが、ガイドの会長と副会長からの寄贈で、大神山神社・金屋子神社のしめ縄も架け替えられました。その後、ガイドの会の総会を行い、令和4年度の事業報告と令和5年度の事業計画を話し合いました。



今年度はコロナ禍もだいぶ落ち着き、春からのセラピーご予約も多くなっています。多くの方に飯南町の森の癒しをお届けできるように頑張ります。



山野草園の枯木伐採

飯南町ふるさとの「森の山野草園」奥にある杉の枯木を倒していただきました。木が裂けたところから腐敗し、半分以上は枯れていたようです。すぐ横にセラピーロードがありますが、これで安心して通ることが出来ます。



小田川沿いの道路改修

令和3年7月豪雨災害で、陥没していた道路の改修工事がいよいよ始まりました。しばらくは片側交互通行ですが、今月中には安心して通行できるようになるはずですが。



文化を感じるまちへ
飯南町文化協会

事務局(教育委員会内) ☎76・3944

飯南町文化協会に加盟している団体の活動を紹介。今月は「ふきのとう(大正琴)」です。

「ふきのとう(大正琴)」は、平成8年に発足し、今年で27年目を迎えます。私たちは現在、2人で活動しており、毎月2回程度交流センターとんぼらで練習会をしています。公民館イベントなどで4曲程披露させていただいています。

新型コロナウイルス感染症の拡大以前は、老人ホーム等の地域施設の新年会などで大正琴を披露する機会もあり、年間4回程度発表する機会がありました。現在はあまり活動ができておりません。講師はおらず2人での活動ではありますが、また皆さんの前で演奏できる日を心待ちにしております。



頭を使って、指を使って。大正琴の魅力は美しい音色。

短歌

赤名短歌会 四月例会詠草

水溜まりに映る樹の影花の影その隅っこにわが影もあり
雨花の頃新入生の顔揃う風にも負けず自分の人生を
散りいそぐ桜花と共に君往きぬ永久に忘るまじ在りし日のご恩
爛漫の桜並木に見とれつつウォーキングの足取り軽し
軒下の苺の花も咲き揃い二羽の白蝶たわむれし午後
異次元にのりおくれるな日本丸 世界の顔々広島サミット
みどり児の手のひらほどにひらきたる楓そよそよ 風の子守歌
さくらさくらさくらさくらさくらさくらさくら咲きハラハラハラハラと散る 鳥田 勝信
師と友と数年ぶりに再会す桜のくれし吾へのエール 門所 詠子

俳句

琴峯華句会 四月の作品から

千せるだけ干しし物干山笑ふ 彼国も此処も故郷燕来る 松平富美子
花びらの貼り付く傘をたたみけり 茹であげし物みな青しアスパラも 八嶋 敏江
里山に雛鳥の声ひびきくる 土池 博子
雨あとの畑に春泥香り立つ 朽木 豊子
八嶋 昭男



今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

ちょっと待て!
その書きこみは
大丈夫?

来島小6年 加瀬部 敬一朗さん
家族名 真莉さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

【お詫び】

広報い〜なん4月号掲載「ルーツいいなん」のお名前に誤りがありました。お詫びして訂正します。(誤)妹尾 優太さん (正)妹尾 優汰さん

すこやかに

4月届出分

新生児 届出人 地区
森山 笑心 清 史(下赤名)
中山 勝太 崇 (谷)

やすらかに

4月届出分

お名前 親族 地区
伊達 弘文様(66) 佑 紀(小田真木)
谷川 和広様(66) 幸 子(野 萱)
那須 悦雄様(67) 亮 介(角 井)
若林 禎治様(92) 幹 男(下赤名)
景山 壽子様(93) 泰 治(上来島)
安井 秀子様(89) 克 久(下赤名)
嶋岡 良宏様(84) 宏 明(赤 名)
森 通子様(102) 伊藤美知子(野 萱)

今日の表紙

普段着にハンターベストと帽子を身に付け、光の射す山に登る渡邊了介さん。わなを仕掛ける獣道を探します。

「まだまだ経験不足ですし、何があるか分からない。常に緊張感を持って臨んでいます」と話していました。(2〜3ページに関連記事)



2023
6

まちのスケジュール

📖教育 + 健康・保健 🌸文化・体育 💧その他

- 1 木 📖 中学校雲南・飯南・仁多ブロック大会(総体)
💧 特設人権相談所(交流センターとんぼら・来島交流センター)
- 2 金
- 3 土
- 4 日 💧 総合防災訓練
- 5 月
- 6 火 📖 来島小授業公開日
- 7 水 + ほっと.Café(来島保健センター)
+ 健康にい〜にゃん週間(〜13日)
- 8 木 + 住民健診(谷体育館)
- 9 金 + 住民健診(小田体育館)
- 10 土 📖 頓原小授業公開日
- 11 日 💧 ポピー祭(東三瓶フラワーパレー)
- 12 月
- 13 火 📖 中学校雲南・飯南陸上記録会
(大東陸上競技場)
- 14 水 📖 赤名小授業公開日
+ ほっと.Café【食講座】(来島保健センター)
- 15 木 + 乳児健診・育児相談(保健福祉センター)
- 16 金
- 17 土 💧 ものづくり教室(春)消しゴムはんこづくり
(赤名改善センター)
- 18 日 💧 しまね家庭の日
🌸 お父さん、おじいちゃんといっしょにおはなし会(中央図書館)
- 19 月
- 20 火 + こころの健康相談日(医師)
※完全予約制(保健福祉センター)
- 21 水 📖 頓原中学校区小中合同音楽会(頓原中)
+ ほっと.Café(来島保健センター)
- 22 木 📖 赤来中学校区小中合同音楽会(赤来中)
+ 住民健診(赤名改善センター)
- 23 金 📖 住民健診(赤名改善センター)
💧 はぴこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制
- 24 土 💧 Halfナイトウォークラリー(さつき会館)
- 25 日
- 26 月 + 住民健診(保健福祉センター)
- 27 火 + 住民健診(保健福祉センター)
- 28 水 + ほっと.Café【リフレッシュ講座】(来島保健センター)
+ 住民健診(保健福祉センター)
- 29 木
- 30 金 💧 町県民税納期限 💧 国民健康保険料納期限
💧 後期高齢者医療保険料納期限



よく飯南町に帰省する熊谷さん。高校時代の友人との時間を大切にしているそう。「休みが合えば、会うようにしています。お酒を飲んで話をするだけですけど、認め合える友達がいるのは自慢です」と話していました(後列左2番目が熊谷さん)

「塾に通う子どもや保護者さんに満足していただくのは大変です」と話す熊谷怜史さん(24歳)。神奈川県学習塾に勤務し、教室長として一つの教室の運営を任されています。熊谷さんが就職先を現在の学習塾に決めたのは、周りの学生の就職活動が終わりにかけていた大学4年生の

「塾に通う子どもや保護者さんに満足していただくのは大変です」と話す熊谷怜史さん(24歳)。神奈川県学習塾に勤務し、教室長として一つの教室の運営を任されています。熊谷さんが就職先を現在の学習塾に決めたのは、周りの学生の就職活動が終わりにかけていた大学4年生の

子どもたちにとって身近な大人でありたい



くまがい さとし
熊谷 怜史
飯南町頓原出身。頓原中、飯南高卒業後、鳥根県立大学に進学。4年間学業だけでなく、積極的にボランティアを行う。卒業後、神奈川県学習塾に就職し、社会人3年目

夏。業種に悩んでいた熊谷さんは、「自分は本当に今後の将来、何をしたいのか」を考え直し、自分の志となっている想いを貫き、就職先を決めます。「子どもたちには信頼できる身近な大人が必要」。熊谷さんは「自分にとって『Fun』での活動が大きかった」と話します。大学1年生で、高校の同級生と結成した有志団体『Fun』。飯南町の小学生を対象とした大学生との交流イベントを企画し、毎年開催しました。「子どもたちと関わることで、想いが明確になった」と続けます。

この想いが就職してからも熊谷さんを支えています。就職して1年半で新規開校の教室を運営。塾生勧誘や講師陣のマネジメントなど多岐に渡る業務に追われることも。「子どもたちと関係性を構築するのは難しい。でも自分がそうだったように、信頼できる大人が身近にいれば、必ずいい影響があるはずですよ」と笑顔で話します。「いつかは飯南町に帰って来られたいと思います。今は経験を積みむ時間です」と熊谷さん。子どもたちの身近な大人として、これからも生徒を支えていきます。

ごみ収集日	金属類・灰類 くつ類・プラスチック類	陶器・ガラス類 くつ類・プラスチック類	資源物	
収集地区	収集日	収集日	収集日	
頓原	頓原連坦地	26日(月)	12日(月)	21日(水)
	八神連坦地	28日(水)	14日(水)	
	連坦地以外	27日(火)	13日(火)	
赤来	赤名連坦地	19日(月)	5日(月)	28日(水)
	来島連坦地	21日(水)	7日(水)	
	連坦地以外	20日(火)	6日(火)	

し尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頓原・志々	7日(水) 9日(金)
赤名	21日(水) 23日(金)
来島	14日(水) 16日(金)

【いいしクリーンセンター】☎72-9217
【クリーン(株)】☎72-1401(頓原地域)
【クリーン(株)】☎76-2441(赤来地域)

決められた日時を必ずお守りください。

町の人口 4,529人(前月比+23人) 男性2,153人 女性2,376人 世帯数2,021戸 R5.5.1 現在



スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか